

1・2学年外国語科(英語) ノースカロライナ視察団との交流

6/26~7/8
(5時間)

連携先: イーストチャペルヒル高校、チャペルヒル
高校、引率の先生方

ねらい: 直接的な交流を通して、相手の意図・考え方を的確に理解し、世界各国の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、豊かな国際感覚を醸成し、多様性を受け入れる力を身に付ける。

- ☑ 自己有用感を高める
- ☑ 他者と協働する力を高める
- ☑ 学校や地域の一員としての自覚を持たせる
- ☑ 様々な活動に意欲的に参加できるようになる

内容の説明

- ① 7月8日(月)にノースカロライナからの視察団が来校することを伝え、交流することを伝える。
- ② ノースカロライナについての説明を行う。(2年生は昨年ノースカロライナ調べを行っているため、復習の感覚で行う)

質問者の決定 具体的な活動の説明

- ① ノースカロライナについて知りたいこと、聞いてみたいことについて質問用紙に記入し、質問者に選ばれたら練習を行う。
- ② 当日の具体的な活動内容や時程について理解をし、コミュニケーションをとるために必要なことを考える。

当日の交流

- ① 全校でのセレモニーとして体育館での交流を行う。(校歌の紹介、視察団の方々の自己紹介、調べ学習の発表の清聴など) 1~2時間
- ② 学年ごとの交流を行う(視察団の自己紹介、南中学校の生徒からの質疑応答、班ごとにアクティビティーを通しての交流) 1時間
- ③ 全ての活動を終え、振り返りシートを記入する。

写真は交流日当日の7月8日の様子



成果

- ・アクティビティーを通して、他者と協力する力を高めることが出来た。
- ・英語を聞き取ったり、実際に会話をすることで自己有用感を高めることができた。

課題

- ・教員が司会進行を務めたり、全校生徒や学年全体での交流をしたため、生徒たち自身で交流をすることにより更なる意欲的な参加を促したい。
- ・パワーポイントを用いた調べ学習を行い、発表する機会生徒たちに提供していく機会も作っていく。

